

甲南大学コミュニティデザインセンター
地域連携プロジェクト

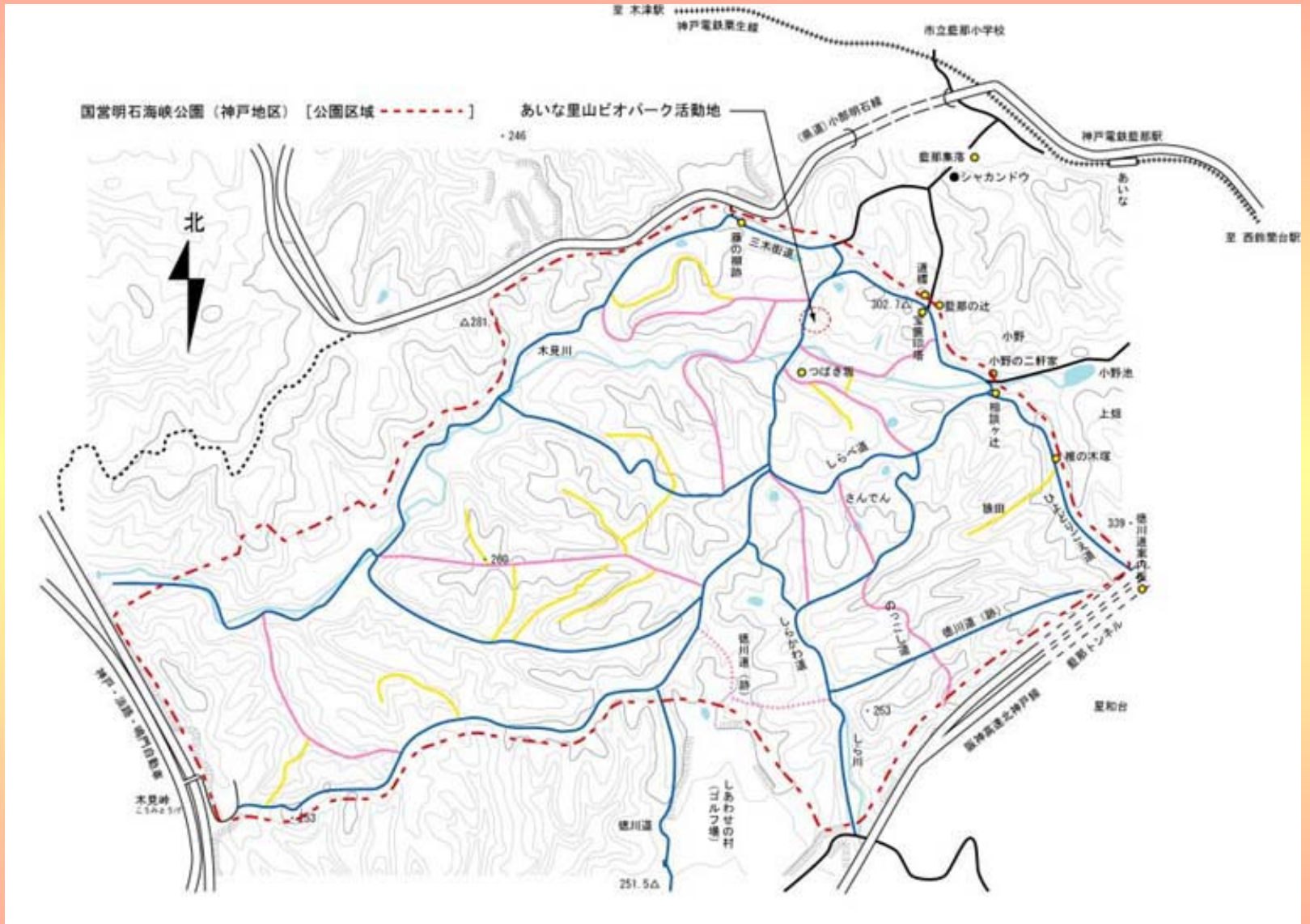
あいな里山公園における環境教育ボランティア

文学部人間科学科 谷口ゼミ

甲南大学から藍那への経路



国営明石海峡公園神戸地区 あいな里山公園



里山とは

長い時間をかけて人が自然に働きかけて作り上げられた二次的自然



里山の棚田



溜め池



平地を利用した畑

不耕起農法のボランティア活動

冬期湛水・不耕起農法とは

- ・ 冬期湛水で、水田を耕さずに栽培する農法

冬期湛水・不耕起農法のメリット

- ・ 稲が野生化する 冷害などに強くなる
- ・ 春から夏にかけて雑草の繁殖を抑える
- ・ 農作業の軽減
- ・ 無農薬であるため安全な米ができる

不耕起農法のボランティア活動（2005年度）



不耕起農法:草刈り
(5月)



田んぼの復元:畔づくり
(7月)



田んぼの復元:湛水^{たんすい}
(7月)



田植え
(2005年6月)



稲刈り
(2005年10月)



脱穀
(2005年11月)

不耕起農法の田んぼ（2006年度）



あいな里山公園の田んぼ



不耕起農法の田植え（6月）



タコノアシ (稀少種)



カスミサンショウウオ (稀少種)



ニホンアカガエルの卵 (稀少種)



アメリカザリガニ (外来種)



切り株の間に苗を植えていく



成長した苗（8月）



公園内で増えるイノシシ

藍那地域におけるヒアリング調査



あいな里山公園の復元茅葺民家（8月）



藍那の歴史勉強会（9月）

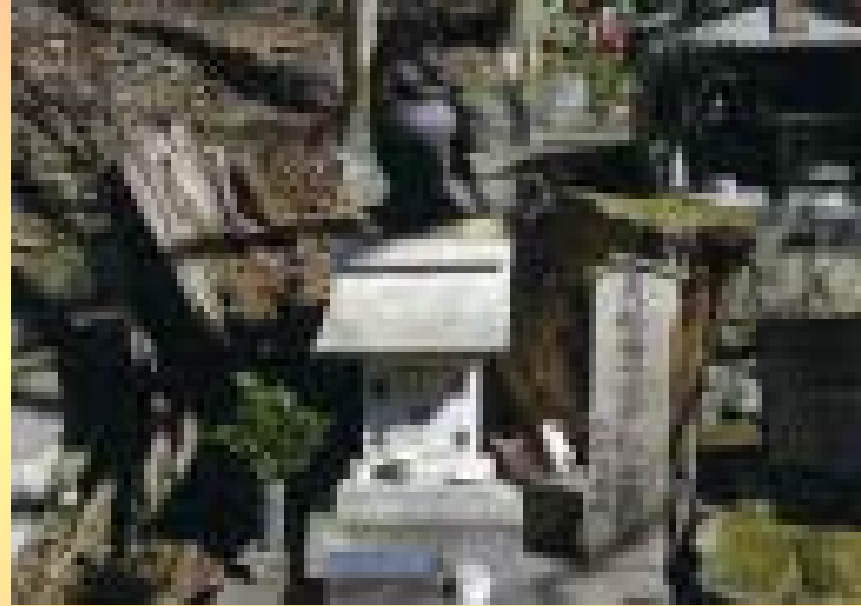


地元の方からのヒアリング調査（10月）

藍那と源義経の伝説



そうだがつじ
相談ヶ辻の二軒屋



義経駒つなぎの松

藍那の石碑



藍那駅前にある七本卒塔婆



紫式部の墓と伝わる
宝篋印塔



和泉式部の墓と伝わる
宝篋印塔

農村歌舞伎



しゃかんどう

藍那集落にある釈迦堂の歌舞伎舞台
(現在は倉庫として使われている)




天神社にある歌舞伎舞台
(現在も歌舞伎が行なわれている)

藍那周辺地図



Community Design Center

 甲南大学

コミュニティ・デザイン・センター

〒658-8501 兵庫県神戸市東灘区岡本8-9-1 (10号館2階)

TEL 078-435-2275 FAX 078-435-2302

URL <http://www.konan-cdc.jp>

Mail k-cdc01@center.konan-u.ac.jp

新たなコミュニティ創生に向けて
甲南大学コミュニティ・デザイン・センター



8

あいな里山公園における 環境教育ボランティア

環境ボランティア活動を通
じて阪神地域への
貢献を目指す

文学部人間科学科
取組担当者 谷口 文章 教授

プロジェクトの目的

本プロジェクトでは、国土交通省の「あいな里山国営公園」（神戸地区）開園に向けての環境教育ボランティア活動を行っています。「あいな里山村」再生に向けてのサポート活動を行い、阪神都市公園の創造のための地域連携を推進するとともに、阪神地域への貢献を目指しています。「あいな里山公園」（国土交通省国営公園、240ha）は、学校・社会教育における環境教育の実践の場となることが期待されています。学生たちは2005年度から、「あいな里山公園」にボランティアとして参加しており、有機農業の本来の姿である、冬期湛水や不耕起農法による「不耕起米栽培」体験を継続しています。また今年度より「あいなの郷」の復興のために、

地元の人々に文化・伝承・地域環境についてヒアリング調査を実施し、データをアーカイブ化するボランティア活動を行っています。



プロジェクトの進捗状況

「不耕起米栽培」体験を通じたの ボランティア活動（2005年度から実施）

不耕起農法とは、水田を耕さないまま農作物を栽培する農法で、耕されていない固い土に苗が根を張るため、稲が野生化し、冷害や風に強い太い根に変わります。それに加え、冬期湛水によって冬から春の間に活性化する微生物が切り株を分解して土を肥やし、水鳥の糞がさらに微生物を増やしていきます。さらに、労働時間の大幅な短縮と雑草の繁殖を抑えることなど、一般的な農法よりも効果が期待されています。2006度は6月11日（日）に不耕起農法の田植えに参加しました。しかし残念なことに、今年度で予定されていた稲刈りや脱穀は、イノシシによる稲穂の食い荒らしによって稲の収穫ができませんでした。穂を笑いたり、イノシシ避けにネットを張るなどの対策も講じられましたが、さらなるイノシシ対策の強化が必要となります。イノシシの問題は、あいなの里山がただの里山ではなく、公園でもあるため、狩猟は禁じられています。イノシシの数は増える一方であると考えられ、今後もイノシシによる被害は増える恐れがあります。

あいな地域の地域環境の アーカイブ化（ヒアリング調査）

あいな里山公園でボランティア活動をしているNPO団体「自然と友だちになろう」（代表・三宅慎也氏）のご協力を得て、あいな地域でのヒアリング調査を始めることができました。事前調査と勉強をかねて、藍那公民館で開催された神戸大学の研究員による藍那周辺地域の古文書研究発表に参加しました。また藍那のヒアリング調査では、藍那の環境や里山の変化についてお話を伺いました。藍那には源義経の道落として有名な鶴越の古道や、紫式部、和泉式部の墓といわれている石碑があり、かつて農村歌舞伎が盛んであったことから歌舞伎舞台が遺跡として残っています。今後はヒアリング調査の範囲を広げて、あいな里山の生活について調べていく予定です。

